

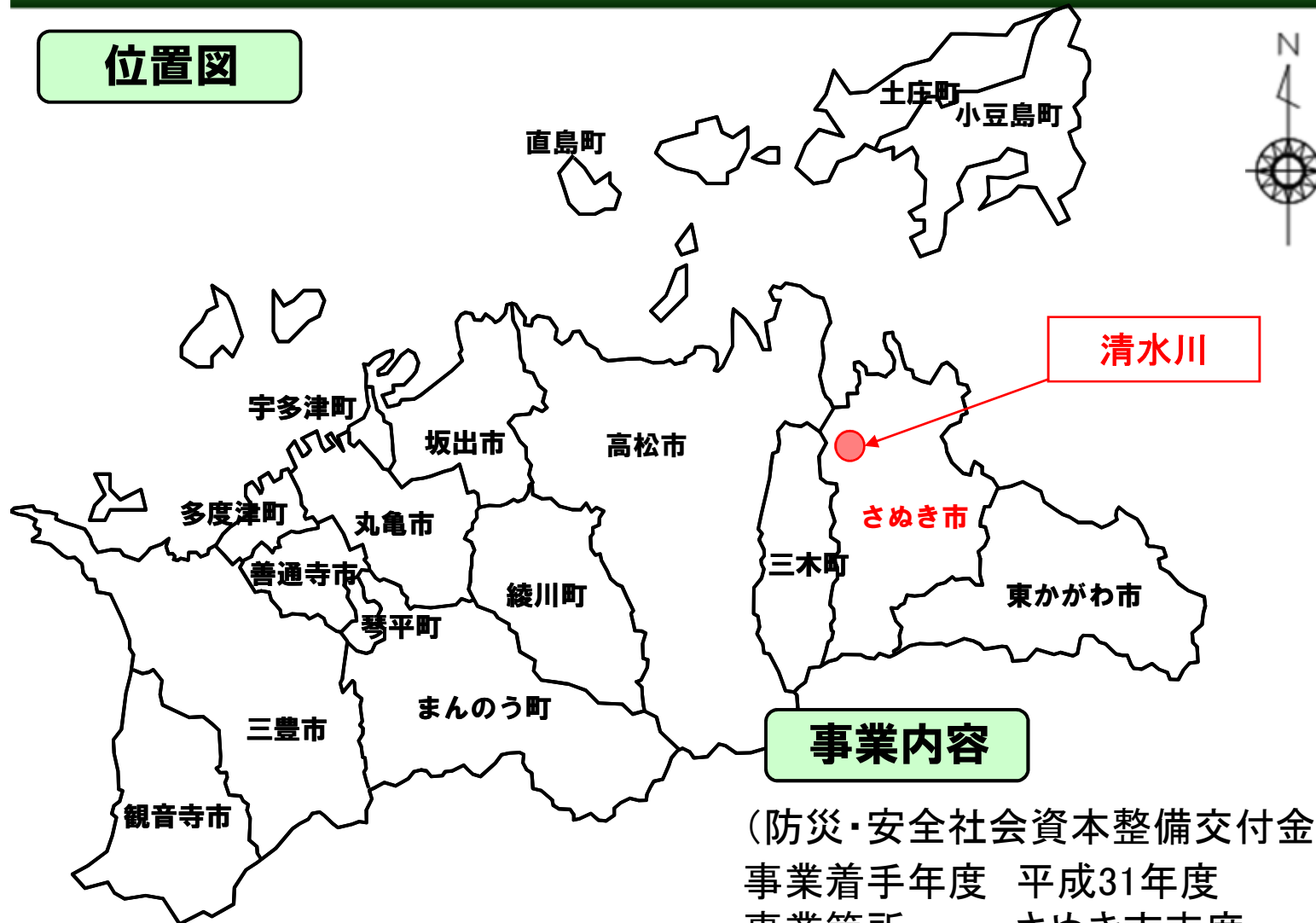
新規事業採択時評価対象事業

清水川 事業間連携砂防等事業

香川県 河川砂防課

◇ 1 事業の概要

位置図



事業内容

(防災・安全社会資本整備交付金)通常砂防事業
事業着手年度 平成31年度
事業箇所 さぬき市志度
事業費 365百万円
実施内容 砂防堰堤1基、溪流保全工110m

◇ 1 事業の概要

流域の概要



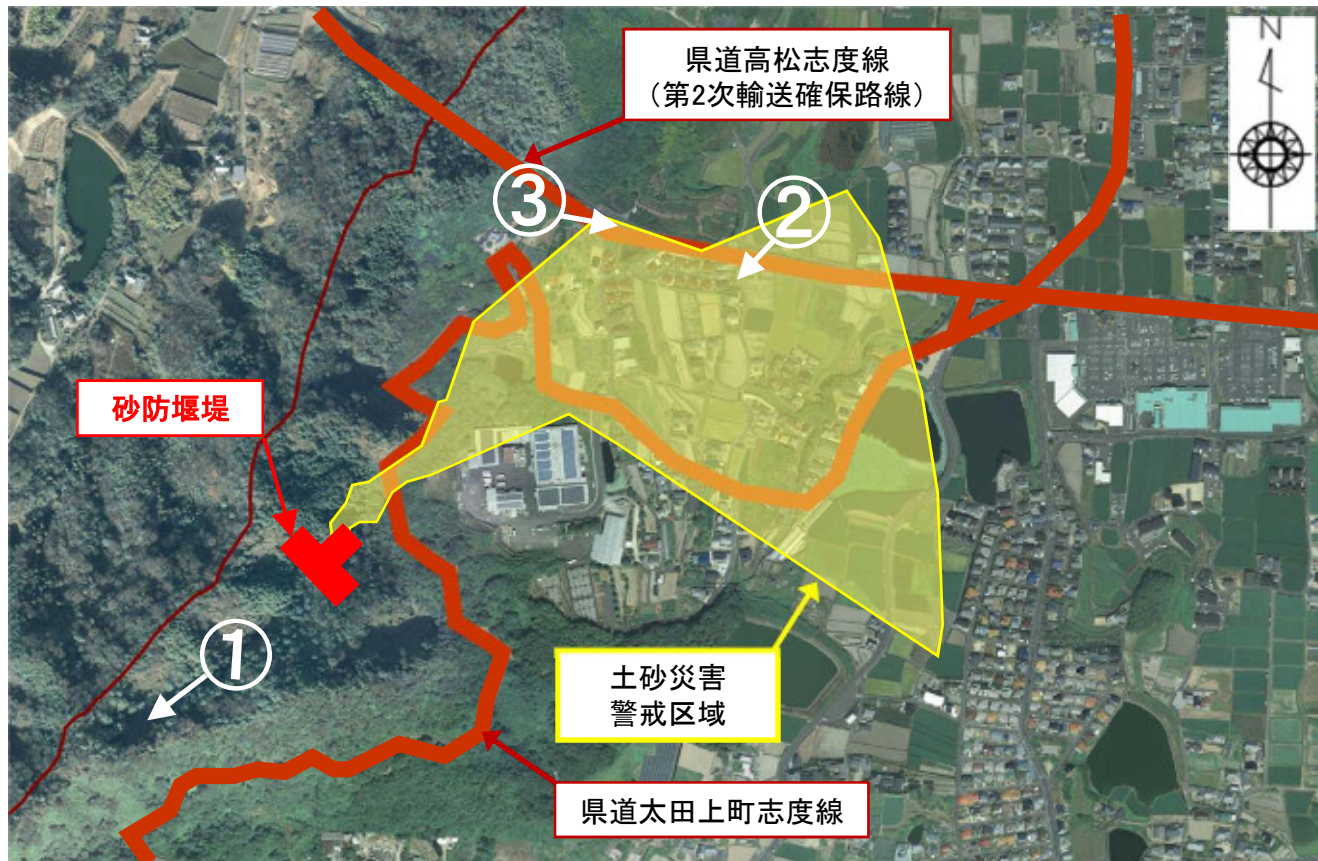
地理院地図(国土地理院)(<https://maps.gsi.go.jp>)をもとに作成

◇ 1 事業の概要

保全対象

事業の主な保全対象

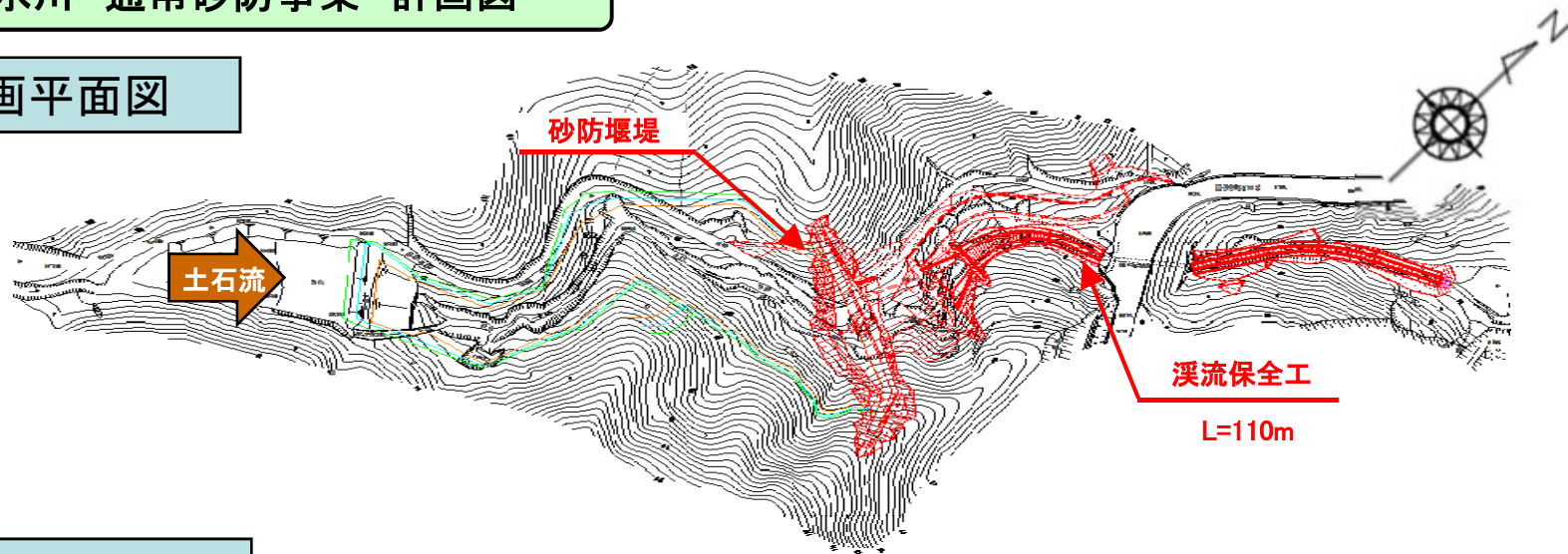
・人家	84戸	・県道高松志度線	367m
・県道太田上町志度線	775m	・市道	803m 等



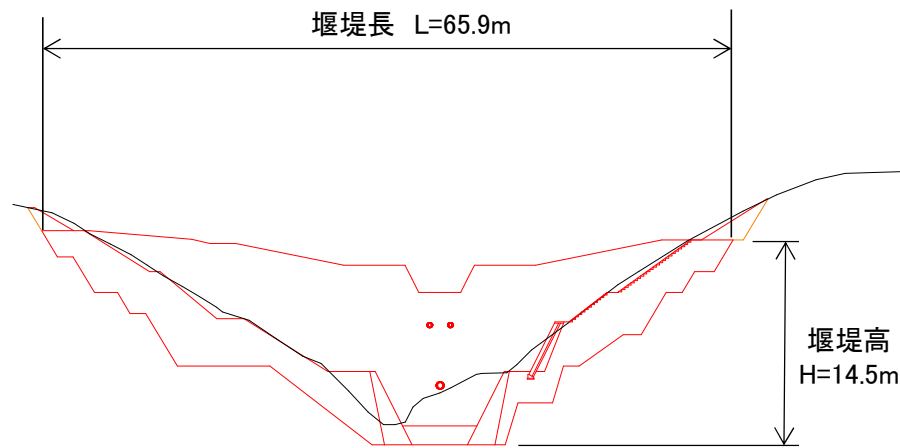
◇ 1 事業の概要

清水川 通常砂防事業 計画図

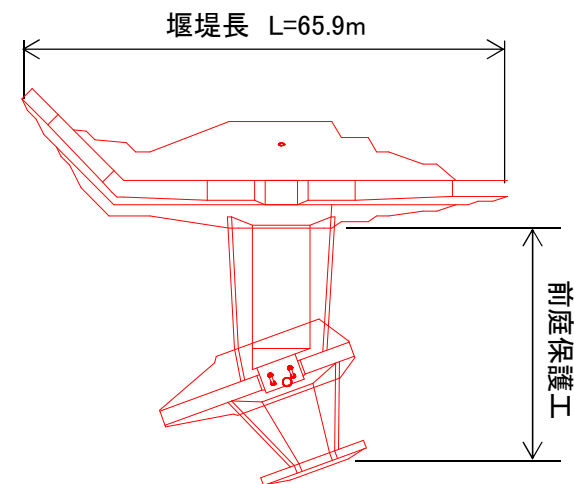
計画平面図



堰堤一般図



(堰堤正面図)

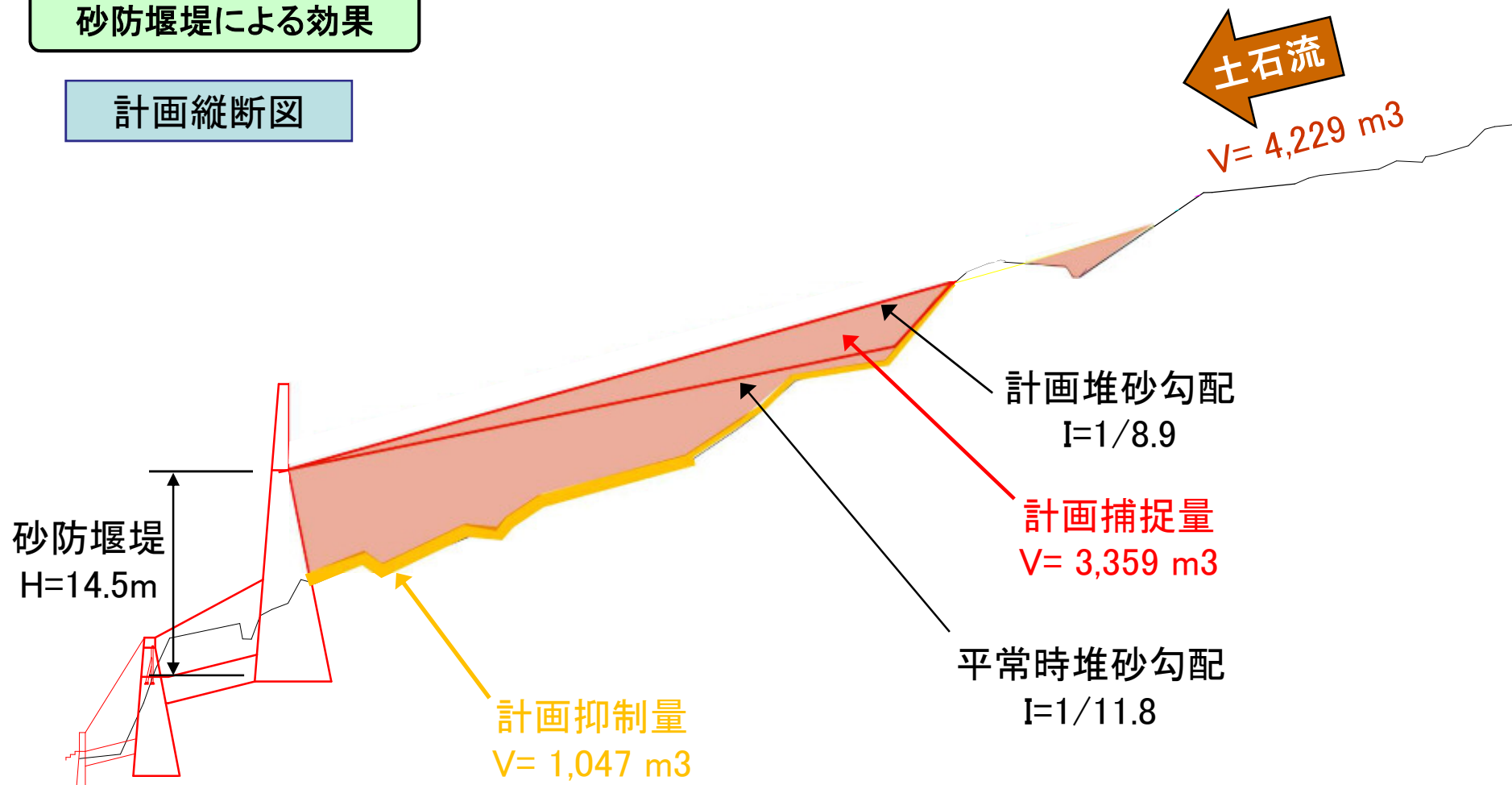


(堰堤平面図)

◇ 1 事業の概要

砂防堰堤による効果

計画縦断面図



堰堤地点での計画流出土砂量 $4,229\text{m}^3$ を砂防堰堤の計画捕捉量(赤線で囲まれた茶色部分) $3,359\text{m}^3$ と計画抑制量(オレンジ着色部分) $1,047\text{m}^3$ で止める。

◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定 「土石流対策事業の費用便益マニュアル」(国土交通省砂防部)より

- ・ 想定氾濫区域：土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域

清水川 砂防事業の便益

- ・ 直接被害
家屋84戸、県道等公共土木施設、
人身被害（逸失利益）
- ・ 間接被害
人身被害（精神的損害額）

純便益（B - C）の算定結果

- ・ 純便益 B - C

5,938（百万円）

費用便益比（B / C）の算定結果

- ・ 総便益 $B = 6,278$ （百万円）
〔 便益 = 6,259（百万円）
残存価値 = 19（百万円）〕
- ・ 総費用 $C = 340$ （百万円）
〔 建設費 = 338（百万円）
維持管理費 = 2（百万円）〕

費用便益比 $B / C = 18.45$

◇3 対応方針（案）

1. 新規事業採択時評価の視点

①事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 清水川は主な保全対象として、人家84戸、県道高松志度線（第2次輸送確保路線）、県道太田上町志度線、市道等を含む土石流危険渓流である。流域には多量の不安定土砂が堆積しており、次期出水により土石流が発生する危険性が高まっている状況である。近年の気候変動の影響により、風水害が激甚化・頻発化する傾向にあることから、本溪流についても土砂災害が発生すれば、下流域に甚大な被害が発生するおそれがあるため、早期の土砂災害対策が必要である。

2) 事業の投資効果

- 費用便益比（B／C） 18.45

3) 事業の進捗状況

- 今年度までに砂防堰堤や渓流保全工の整備に必要な事業用地の取得は全て完了しており、引き続き、工事用道路及び砂防堰堤に着手する予定である。進捗は事業費ベースで21%である。

②事業の進捗の見込みの視点

- 事業用地は全て取得済であり、次年度以降も継続して工事を実施することが可能であることから、円滑に進捗が図れる見込みである。

2. 対応方針（案）

対応方針（案）：実施